

宮城県林業普及活動情報

2023. 9月号 No. 184

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～10

- 「ツヤハダゴマダラカミキリ被害調査」の実施 (大河原地方振興事務所)
- 「木工工作」コンクール作品展示会の開催 (大河原地方振興事務所)
- せんなんマルシェin大河原合同庁舎の開催 (大河原地方振興事務所)
- 「県産材を使用した木工教室」の開催 (仙台地方振興事務所)
- 原木しいたけ生産者等による打合せ会の開催 (仙台地方振興事務所)
- 森林経営計画制度の説明 (仙台地方振興事務所)
- 農産物直売所等の巡回指導の実施 (仙台地方振興事務所)
- 安全な刈払作業の実施に向けて (仙台地方振興事務所)
- 「おおさき森林・林業ふれあい展」を開催 (北部地方振興事務所)
- 森林組合への経営支援（森林組合経営診断フォローアップ調査） (北部地方振興事務所)

- 「木工工作コンクール栗原地区応募作品展」の開催 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 森林整備関係業務打合せの実施 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 木材加工施設の整備に係る検討 (東部地方振興事務所)
- 街中複合施設での木育・木質化の支援 (東部地方振興事務所)
- カミキリムシ被害の現地調査 (東部地方振興事務所)
- 女川林業振興会の視察研修支援 (東部地方振興事務所)
- 松くい被害対策に必要な区域の変更に関する支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)

- 気仙沼市産メンマの販売 (気仙沼地方振興事務所)
- 森林作業道作設オペレーター指導者研修の開催 (林業技術総合センター)
- 林業教室必修講座②と閉講式 (林業技術総合センター)
- 林業普及指導員専門別研修（刈払機）を開催 (林業技術総合センター)

「ツヤハダゴマダラカミキリ被害調査」 の実施

大河原地方振興事務所

【5日(火)】

今年の7月から数回にわたり、県民からツヤハダゴマダラカミキリ被害の情報提供があり、今後の被害拡大防止の必要があることから現地調査を県庁担当者とともに実施し、現状把握に努めており、今回は新たに情報提供のあった川崎町・柴田町・村田町の3町を対象に被害地確認調査を実施しました。

その結果、地域森林計画内や公園・街路樹などで被害が確認され、今後拡大が想定されることから関係町の担当者に被害状況を提供するとともに今後の対応について検討していただくよう依頼し、了承を得ました。



【調査の様子】



【調査の様子】

「木工工作」コンクール作品展示会の開催

大河原地方振興事務所

【9日(土)・10日(日)】

今年度のみやぎ児童・生徒「木工工作」コンクールの予備審査を終えてから庁外で、応募作品展示会を開催し、作品を通じて木の良さ等を味わっていただきました。

今年度のコンクールには、当事務所管内で3校の11作品が応募されました。その作品を柴田町船岡館山にある「柴田町観光物産交流館」で展示会を2日間開催したところ、出品した家族をはじめ、137名の来場者数がありました。その中で、木の良さを生かし夢のある作品に対して多くの人が感心していました。また、森林林業の印刷物等を配布説明し、林業の現状に関心を高めていただきました。



【来場者の様子】

せんなんマルシェ in大河原合同庁舎の開催 大河原地方振興事務所

【27日(水)】

当所の各部と連携し、仙南地区の農林産物や加工品、工芸品等を広くPRする販売会を開催しました。

今回の販売会では、「実りの秋」をテーマに、仙南地域のきのこやぶどう等の秋の味覚やお月見に合うスイーツ、「芸術の秋」として陶器や苗木、森のアロマスプレーなど、各分野における特色を活かしながら、管内のさまざまな生産者・事業者に出店していただいたほか、地元の産業高校の生徒による販売PRも行われました。

多種多様な内容で集客効果も上がり、完売する商品も続出したことから、山の幸の魅力を伝える良い機会となりました。

今後も、仙南の山の幸の販路拡大に向け、生産者支援を継続していきます。



【マルシェの様子】

「県産材を使用した木工教室」の開催

仙台地方振興事務所

【9日(土)】

『第16回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール展示会 in せんだい』を令和5年9月8日(金)から12日(火)の間、仙台市泉区七北田緑化ホールで行いました。仙台地方振興事務所管内30小中学校から合計73点の応募作品について、審査会を行ったのち、1週間展示したものです。

また、上記展示期間中である9月9日(土)に、宮城南部流域森林・林業活性化センター・仙台支部と協力し「県産材を使用した木工教室」を行いました。当日は、林業研究グループとも協力し、16組の親子と20個の木製貯金箱を作るとともに、自由参加で幼児等と木製キーホルダーづくりを行いました。参加した皆さんからは、「くぎや金槌を使う機会が少なく貴重な経験となった。」「木は香りが良いですね。キーホルダーも大切に使います」という意見を多くいただきました。

これからも、多様な関係者の皆さんと連携・協力をしながら、木を使った活動を継続していきたいと思っております。



【第16回みやぎ児童・生徒「木工工作」コンクール展示会 in せんだい】



【県産材を使用した木工教室】

原木しいたけ生産者等による打合せ会の開催

仙台地方振興事務所

【21日(木)】

管内の原木しいたけ生産者及び原木しいたけ生産者協議会の事務局である市町村担当者による打合せ会を開催し、仙台管内での現在の出荷制限解除の状況や、手続き等の確認、今年度の原木しいたけのPR活動の実施について打合せを行いました。

林業振興課が主導となって行っている、県産原木利用再開に向けた取組についても説明を行いました。

今後も市町村との連携を図りながら、原木しいたけ生産者の活動を支援していきます。



【生産者等による打合せ会の様子】

森林経営計画制度の説明

仙台地方振興事務所

【22日(火)】

山元町の坂元愛林公益会事務所で行われた理事会に参加し、今年度で期間が満了となる森林経営計画について協議を行いました。今期、次期計画の方針などが話し合われ、県で推進している一貫作業システムについて説明を行いました。

森林組合を交えた協議により、公益会の今後の方針が決定されました。



【理事会の様子】

農産物直売所等の巡回指導の実施

仙台地方振興事務所

【26日(火)~28日(木)】

野生きのこが市場に出回る季節を前に、毒きのこが流通することを防ぐために、管内の農産物直売所等を巡回し、個別に指導を行いました。

毒きのこの仕入れ、販売の防止について注意喚起を行ったほか、販売前の放射性物質検査による安全の確保についても協力を依頼しました。



【巡回指導の様子】

安全な刈払作業の実施に向けて

仙台地方振興事務所

【28日(木)】

林業普及指導員が講師となって、海岸防災林での刈払作業を行う活動団体の皆さん11人を対象に、労働安全衛生講習会を行いました。

当日は、まず座学を行い①林業労働災害の現状②刈払作業のリスクアセスメント③蜂刺され災害④熱中症の予防、について理解を深めていただきました。

その後、実際に刈払を行う海岸防災林へ移動し、刈払を行う上でのリスクの洗い出しや安全装備の再確認を行いました。

参加していただいた皆さんは、殆どが刈払の経験が豊富な方達でしたが、リスクアセスメントを行っている中で、「刈払いに近接し、そのような時にキックバックを起こして、危ない目にあった。」という経験がある方が複数人おり、「刈払いに近接した時は、刈払いを続ける人が手をあげる」ことを皆で意見を取りまとめ、今後の安全対策に生かすこととしました。



【労働安全衛生講習会（講義）】

「おおさき森林・林業ふれあい展」を開催

北部地方振興事務所

【6日(水)～14日(木)】

9日間にわたり「おおさき森林・林業ふれあい展」を開催し、管内の小学生が夏休み中に制作した木工作品16点を大崎市地域交流センター「あすも」で展示しました。

いずれの作品も個性あふれるものばかりで、9月13日(水)に行った今年度の木工工作コンクール審査会でも甲乙つけ難い評価となりましたが、審査の結果、6作品が本審査へ進むこととなりました。



【作品展示の様子】



【展示した作品の審査(13日)】

森林組合への経営支援（森林組合経営診断フォローアップ調査）

北部地方振興事務所

【28日(木)】

森林組合を対象とした中小企業診断士による経営診断結果の反映状況について、県庁の団体指導担当者等とともに森林組合役員に対する

聞き取り等を行いました。

「①事業戦略、②財務戦略、③人事・組織戦略」の観点で、課題に対する対応状況等を確認した結果、②と③は改善傾向が見られたものの、①については、関係者との調整が必要な課題であることから、今後は、改善に向けた対応方針がまとまるよう、森林組合に対して指導・助言を行ってまいります。



【聞き取りの様子】

「木工工作コンクール栗原地区応募作品展」の開催

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【7日(木)~10月1日(日)】

宮城県木材同友会主催の第16回みやぎ児童「木工工作」コンクールにおいて、栗原管内から応募があった木工作品の「栗原地区予備審査会」及び「応募作品展」を、こもればの森・森林科学館において開催しました。

今年は作品応募の周知を1ヶ月早めて管内の小学校12校に行った結果、7校から32点の作品が集まり、9月7日の予備審査会を経て10月1日までの24日間、管内に展示しました。

応募作品の中には、夏休み期間中に何度も森林科学館のネイチャークラフト教室に通って完成させた作品もあるなど、自然素材の魅力の中に大きな夢が盛り込まれたファンタジックな作品が多く応募されました。

宮城県としては「木に触れて、木と遊び、木を知ろう」とした「木育」活動を推進していますが、この木工工作コンクールは、夏休みを利用して「木育」に取り組める絶好の機会となっていることから、来年度は今年度以上の応募校数・作品数を期待しているところです。



【こもればの森・森林科学館での審査模様】



【応募記念品として、ねじりほんによ柄のオリジナルコースター、優秀賞としてスマホスタンドをプレゼントしました】

森林整備関係業務打合せの実施

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【14日(木)】

毎月1回程度、森林組合事務所において、補助事業等の打合せを行い間伐等の進捗状況の確認などを行うこととしており、森林整備関係の業務打合せを実施しました。

今月は、インターンシップの学生も研修の一部として参加しました。

打合せでは、先月の打合せ内容の振り返りを行い、今年度の補助事業の進捗状況を確認しました。さらに、来年度の仮要望調査等の依頼や、その他繰越事業の確認を行い、施業の推進について働きかけをしました。

なお、参加した学生からは、森林・林業の話が聞けて有意義であったが、自分はまだまだ勉強不足だと感じたとの感想がありました。



【打合せの様子】

木材加工施設の整備に係る検討

東部地方振興事務所

【14日(木)】

管内の木材加工工場2社の担当者を訪問し、今後の施設整備計画の見通しや助成事業の活用を検討しました。

各社とも、生産施設の拡充・効率化を目指していますが、助成事業の要件によっては、将来的な木材消費量を相当量伸ばすことが必要であるため、今後の需給状況などを見据えた生産計画などを引き続き検討してもらうこととし、今後の実際の整備対応に備えていただくことになりました。



【体験かんがげの様子】

街中複合施設での木育・木質化の支援

東部地方振興事務所

【20日(水)】

地域の芸術関係団体が木育を行いながら街中の空き店舗の改修を行う取組について、今後の活動の進め方を打合せました（令和5年度みんなで広げる「木育」活動推進事業で実施）。

木質化施工については、店舗内・外装を地元産材で施工するもので、一般参加者によるワークショップも交えて仕上げていく予定であり、こうした取組で、街中の賑わいづくりと木育活動の輪を一層広げていただくようお願いしました。



【改装施設付近の状況】

カミキリムシ被害の現地調査

東部地方振興事務所

【22日(金)】

管内の公立高校から、カミキリムシ被害の連絡があり、分布拡大が懸念される外来種(例 ツヤハダゴマカミキリ)か否かを現地調査しました。

学校側担当者と現地を点検したところ、校庭周辺のドウダンツツジ数十本の根元に、虫のせん孔跡と木くずが認められました。いずれも枯損には至っておらず、孔の位置・サイズからは在来種(ゴマダラカミキリなど)によるものと推測され、当面は殺虫剤などでの防除をお願いしました。



【せん孔の状況】

女川林業振興会の視察研修支援

東部地方振興事務所

【30日(水)】

当会活動の今後の参考に資するため、木質化・バイオマスによる町づくりを行っている先進地(白石市・七ヶ宿町など)の視察等を行いました。

魅力的・持続的な町づくりが課題となっている中、七ヶ宿町では、森林管理の促進と賑わいづくりを兼ね、木質バイオマス事業が柱となった取組が進められていました。

翌日は、蔵王町内の種苗・緑化事業の取組視察もしてもらい、適正な森林管理の大切さや地域の特色を活かした町づくりの大切さを実感してもらいました。



【ボイラー・チップヤードの視察：七ヶ宿町】

松くい被害対策に必要な区域の変更に 関する支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【19日(火)】

登米市内の松枯れ被害対策に必要な地区保全森林の設定について、東和町森林組合と登米市を支援しました。松枯れ被害が目立つ場所の情報を基に、森林簿の情報や森林組合の意見を取り入れながら、被害拡大防止について議論しました。被害の現況および効果的な区域の策定に向けて理解を深めることができました。



【対策に効果的な場所はどこ？】

気仙沼市産メンマの販売

気仙沼地方振興事務所

【11日(月)】

竹林資源を活用した新たな地場産品の商品化を目指し、気仙沼市内の竹林所有者と協力しながら令和元年からメンマ作りに取り組んできました。今年度も同様にメンマ作りに取り組み、乾燥状態で約6.5kg生産することができました。(乾燥前約50kg)

生産されたメンマについては、仙台市でラーメン店を営む方から、東北の食材を使用したラーメンを提供するイベントを実施するにあたり、気仙沼市産のメンマを購入したいというお問い合わせがあったことから、メンマ生産者に対してのイベントの概要の説明を行うために、打合せを実施しました。

打合せの中で、イベントの主旨について共有された後、今年度作ったメンマの状態を確認していただいた結果、1.5kg分について購入に至りました。

これまで地元の直売所等で少量を試験的に販売されたことはあったものの、事業者からまとまった量を購入いただいたのは今回が初めてのことでした。生産を継続するには、販路の確保も重要になることから、今回の取組をきっかけとして、今後も気仙沼市産メンマのPRを行ってまいります。



【打合せ状況】



【購入された乾燥メンマ】 

森林作業道作設オペレーター指導者研修の開催

林業技術総合センター

【1日(金)】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジの主催により石巻管内にて森林作業道作設オペレーター指導者研修を実施しました。岩手大学農学部斎藤准教授を講師に迎え、「森林作業道の考え方や配置計画」「デジタル技術を活用した配置計画」に関する講義、「デジタル技術を用いた現地踏査」に関する実習をしました。

航空レーザ測量データやスマホアプリ、GISソフトなどのデータやツールの有用性を学びました。また、壊れにくい丈夫な道づくりをすることや地質や地形を把握することの大切さを再認識しました。



【現地踏査】

林業教室必修講座②と閉講式

林業技術総合センター

【5日(火)】

7名の受講生を得て、林業教室の必修講座②及び閉講式を開催しました。

必修講座②は、タカカツ建材プレカット工場及び製材工場を見学しました。白鳥取締役及び小山工場長と菊池工場長からインカムを用いて詳細な説明をいただきました。また、午後から研修生に他己紹介をしていただき、コミュニケーション能力を高めるとともに、各人の情報交換を行うことが出来ました。

引き続き、閉講式を開催しました。

林業に就業して間もない方々が、職場で活躍することを期待しています。



【プレカット工場の見学】

林業普及指導員専門別研修（刈払機）を開催

林業技術総合センター

【27日(水)】

県林務職員が、現場において刈払機取扱作業を指導・実施する際に、労働基準法で事業者に求められる義務と同等の責務を確保するため、9名の受講者を得て、平成12年2月16日付け基発第66号の通達に規定する安全衛生教育を実施し、修了証を交付しました。

カリキュラムは通達の必要教程を必要時間実施しました。学科教育は、テキスト各章に沿って実施しました。実技教育は、身の丈程度の藪の下刈りを実施しました。



【実技教育の様様】